

【小林市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

1人1台端末及び高速大容量ネットワークを中心とするICT環境を活用することで、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実による、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につながることを求められている。

小林市においては、学習及び校務でICT機器を積極的かつ効果的に活用し、教育の質の向上や一人一人の個性に応じた学習の実現を目指す。また、ICT機器を効果的に活用した学習活動の充実を図るとともに、これからの時代を生きるための情報活用能力の向上を図る。

2. GIGA第1期の総括

本市はこれまで、令和2年度までに1人1台端末および教育用無線LANネットワークの整備が完了した。周辺機器等についても整備を行い、令和5年度に大型提示装置の更新を行いICT環境の整備を行ってきた。

ICT環境の整備に加え、令和3年度からICTサポーターの配置を行い、教職員のICT活用指導力等の向上に努めた。教職員のICT機器の活用およびICTサポーターの支援等により教職員のICT活用指導力については年々向上している状況である。

また、ICT活用推進に向けた「小林市GIGAスクール推進モデル事業」を令和3年度より研究指定校によるICT活用研究を行い、ICT環境を効果的に活用するための研究を行ってきた。

ネットワーク整備については、令和6年度にネットワークアセスメントを実施した。今後、ネットワーク環境改善に向けて対応していく予定である。

3. 1人1台端末の利活用方策

本市では、令和7年度に1人1台端末の更新を計画しており、更新にあたり各学校及び関係機関等と情報共有を図り更新作業を行う。

1人1台端末について十分な予備機を含め、端末を適切に更新し、1人1台端末環境を引き続き維持することを前提とし、以下のように利活用していく。

(1)「1人1台端末の積極的活用」

授業や家庭学習、学校・家庭間の連絡等、様々な場面での1人1台端末活用を進めるために、ICTサポーターを継続的に配置し、ICT活用の各種支援や授業実践事例等の情報共有を行う。

また、授業支援ソフトやデジタルドリル等の機能を有効に活用し、児童生徒の心の観察を行ったり、児童生徒の意見の共有を図ることで思考の深まりを促す。さらに、1人1台端末の効果的な利用についての研修を実施し、積極的な活用に努める。

(2)「個別最適・協働的な学びの充実」

1人1台端末を利活用した学習課題への取組により、理解度や学習進度に合わせたデジタルドリ

ル等の活用や、学習支援アプリの機能を用いて自分の意見をグループや全体に共有したりすることにより、個別最適な学びを進める。また、「調べる」「発表・表現する」「やりとりする」という授業場面に応じた端末の活用を進め、協働的な学びの充実に努める。さらに、各児童生徒の学びを可視化することで、個に寄り添った支援体制につなげる。

(3)「学びの保障」

様々な事情により一定期間登校が難しい場合や特別な配慮が必要な場合においては、児童生徒や保護者と学校が協議を行い、1人1台端末などのICT機器を活用して、その実態やニーズに応じた支援を構築していく。